

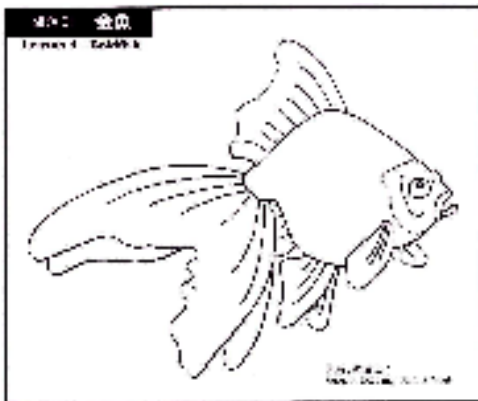
東京地区勉強会のガイダンス

剪画ワークブックを使用して以下の手順で作品を作ります。(教材は実費)

- ① オーソドックスな剪画下絵を使用いたします(当日配布いたします)
- ② 提供された剪画下絵を元に想像を膨らませアイデアを駆使し、独自の下絵を作ります。
参加者全員が同じ下絵を使いますので集団思考法・発想法でよく知られているブレインストーミングの手法(他人のアイデアから新たなアイデアをひらめかせる)と同じで、自由な発想でアイデアを生み出すことができ、自分だけの楽しい下絵ができます。
- ③ 作成した自分だけの下絵で剪画を作成いたします
- ④ 自分だけの作品を一緒に作りましょう

その1例を金魚の作品で紹介します

金魚の下絵



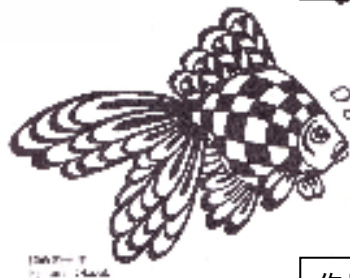
作品 001

よく金魚を観察して、鱗の感じやエラの処理などモノトーンを生かして仕上げています。金魚のお腹の部分を白く抜かなかったのが良かったと思います



作品 002

金魚のこぶと、まだらな感じの肌合がうまく変化を出しています。線の使い分けが見事です。



作品 003

大胆にデザイン化された柄が綺麗で、なおかつユーモアを感じます



作品 004

水草やぼうふら等の小道具を加える事によって、絵全体が生き生きとしてきました